

陸前高田市への支援活動報告書

NPO法人・深澤晟雄の会の「大震災被災者支援活動」は、3月に大船渡市への救援物資の支援に続いて7月10日、陸前高田市への支援活動を行いました。前回同様、陸前高田市在住の千田和可さんのご尽力で実現できました。

昭和40年の豪雪で田植えの遅れる沢内に「救援苗」を届けてくれた陸前高田市へ恩返しをと呼びかけたところ、沢内民謡保存会、さわうち太鼓百年座、夢追い人かじか組合が名乗りを挙げ、個人参加を含めて33人の皆さんにご参加いただきました。食材や機器材とともに車両7台に分乗して、午前6時深澤晟雄資料館を出発しました。当日は最高気温35度という炎天下での活動となりました。

会場となった横田中学校校庭には90世帯の仮設住宅が並び、うち62世帯が入居しています。タケノコと舞茸の炊き込みご飯に岩魚の塩焼きとミズの汁物、西ワラビのおひたしを添えた西和賀の自然まるごと炊き出しは、80人ほどの仮設住宅の皆さんや会場に来ていた県職員・県内外のボランティア活動の皆さんなどにふるまわれました。民謡と太鼓も食事を挟んで堪能していただきました。

今回の炊き出しでは「暑さから食材を守る」ことに最重点が置かれていましたが、行政機関、民間団体の保冷車等の提供があったこと。栄養士・保健師・看護師・調理師等の有資格者による食品管理のもとで、無事に目的を達成できました。また、当日参加の皆さんばかりでなく、前日の山菜採りから下ごしらえ、各種の機器材調達等にご協力下さった皆さんはじめ、当日は急きょ、沢内の理容師3人による無料カットサービスも実現して支援活動を盛り上げてくれました。ご協力下さったすべての皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

平成23年7月20日

NPO法人 深澤晟雄の会



千田和可さん(前列中央)を囲んで当日参加された西和賀町のみなさん(横田中玄関)

裏面もあります